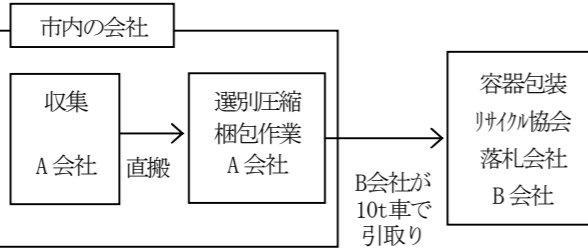
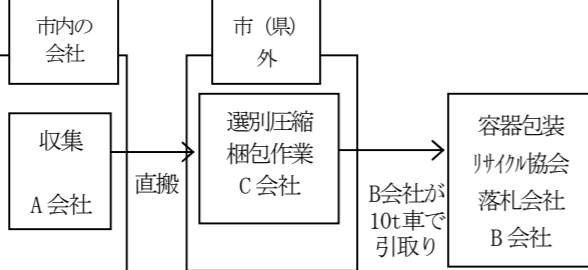
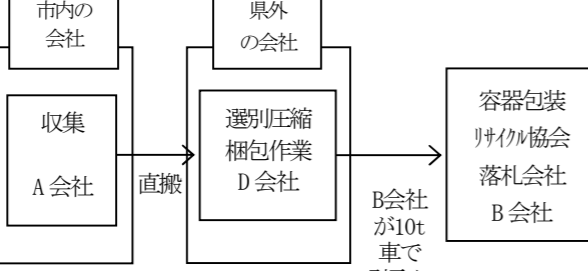
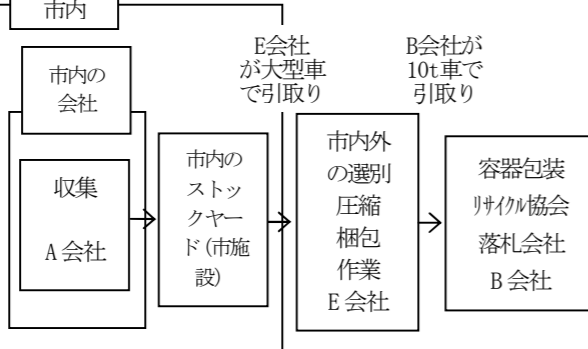


資料 プラスチック製容器包装の分別収集とリサイクル方式（容器包装の分別基準に合った圧縮梱包物の製造）の比較検討

◎生駒市が公設の圧縮梱包施設を稼働する案は、施設建設の用地確保、稼働までに要する時間等の面から検討対象から外している。

リサイクルの方式	方式の概要	プラ製容器包装の収集に必要な収集車両台数と収集費用 ※水から金曜収集の場合（2t車は3台確保）	選別作業委託費等	収集費用と選別作業委託費を合わせたトータルの費用	パターンの比較
<p>1. 市内民間事業者に、収集から選別圧縮梱包まで全て委託</p>	 <p>注) 現在のガラスびん、空き缶、ペットボトル、不燃ごみの処理（関西メタルワーク）と同じ。</p>	<p>[600 t/年] ※隔週収集 (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車3~4台 計約19,000千円</p> <p>[1,200 t/年] ※毎週収集（木・金曜日は午後収集） (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車3~4台 計約37,000千円</p>	<p>[600 t/年] 600t/年×40千円/t +600t/年×3,285円/t =約26,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 1,200t/年×40千円/t +1,200t/年×3,285円/t =約52,000千円</p> <p>※40千円/tは設備投資の減価償却を含めた金額として設定 ※3,285円/tは再商品化委託料 市町村負担分 ※選別残渣は生駒市が処理</p>	<p>[600 t/年] 計約45,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 計約89,000千円</p>	<p>[長所] ○費用は最も安価 ○自区内処理</p> <p>[問題点] ○プラの木・金の午後収集は午後3時頃も有り ○可燃ごみは週の前半に午後3時頃の収集有り ○市内業者が設備投資し受入体制をすぐに整備するとは限らない（当初は5年程度の長期契約保証等が必要） ○競争関係が発生するとは思えないので随意契約が続く</p>
<p>2. 市（県）外の近隣の民間事業者へ選別圧縮梱包を委託し、市内の収集委託業者が直接搬入</p>		<p>[600 t/年] ※隔週収集 (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車8~9台 計約35,000千円</p> <p>[1,200 t/年] ※毎週収集（木・金曜日は午後収集） (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車8~9台 計約70,000千円</p>	<p>[600 t/年] 600t/年×30千円/t +600t/年×3,285円/t =約20,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 1200t/年×30千円/t +1200t/年×3,285円/t =約40,000千円</p> <p>※30千円/tは規模拡大のスケールメリットが得られるとして設定 ※他は同上</p>	<p>[600 t/年] 計約55,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 計約110,000千円</p>	<p>[長所] ○既に稼働中の民間施設に搬入するのですぐに分別実施可能 ○複数社による競争入札を導入できる可能性がある</p> <p>[問題点] ○プラの木・金の午後収集は午後3時頃も有り ○可燃ごみは週の前半に午後3時頃の収集有り ○自区外の施設に収集車が直接搬入するので、搬入先の都市の市民感情を害するおそれがある</p>
<p>3. 現在モデル事業で処理を委託している県外の民間事業者へ選別圧縮梱包を委託し、市内の収集委託業者が直接搬入</p>	 <p>注) モデル実施のプラスチック製容器包装の処理（生駒市衛生社→三重中央開発）と同じ。 仙台市、横浜市、広島市等では、5年程度の長期契約を結び、市内に選別圧縮梱包会社を立地誘導して処理を委託している。</p>	<p>[600 t/年] ※隔週収集 (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車5~7台 計約65,000千円</p> <p>[1,200 t/年] ※毎週収集（木・金曜日にも1日収集★） (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車5~7台 計約131,000千円</p> <p>★遠方であり、1日1往復が限度</p>	<p>[600 t/年] 600t/年×30千円/t +600t/年×3,285円/t =約20,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 1200t/年×30千円/t +1200t/年×3,285円/t =約40,000千円</p> <p>※同上</p>	<p>[600 t/年] 計約85,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 計約171,000千円</p>	<p>[長所] ○既に稼働中の民間施設に搬入するのですぐに分別実施可能 ○複数社による競争入札を導入できる可能性がある</p> <p>[問題点] ○搬入先が遠方であり、1往復しかできないので収集費用は最も高い ○可燃ごみは週の前半に午後3時頃の収集有り ○自区外の施設に収集車が直接搬入するので、搬入先の都市の市民感情を害するおそれがある</p>
<p>4. 一旦市内のストックヤード（中継施設）に市内の収集委託業者が降ろし、選別圧縮梱包事業者が大型車で引取り</p>	 <p>注) 大阪市等で導入されている。</p>	<p>[600 t/年] ※隔週収集 (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車3~4台 計約19,000千円</p> <p>[1,200 t/年] ※毎週収集（木・金曜日は午後収集） (1収集日の必要台数) (収集費用) 2t車3台 3t車3~4台 計約37,000千円</p>	<p>[600 t/年] 600t/年×40千円/t +600t/年×3,285円/t +5,900千円（中継施設） =約32,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 1200t/年×40千円/t +1200t/年×3,285円/t +8,200千円（中継施設） =約60,000千円</p> <p>※40千円/tはタンク2,3+10千円/t（運搬費） ※中継施設はネットフェンス型で、耐用年数10年+誘導職員費</p>	<p>[600 t/年] 計約51,000千円</p> <p>[1,200 t/年] 計約97,000千円</p>	<p>[長所] ○ストックヤードの場所が確保できれば、既に稼働中の民間施設に引き取りを依頼するのですぐに分別実施可能 ○複数社による競争入札を導入できる可能性がある ○自区外処理であるが、収集車が直接搬入するわけではないので、市民感情に与える影響はややましである</p> <p>[問題点] ○プラの木・金の午後収集は午後3時頃も有り ○可燃ごみは週の前半に午後3時頃の収集有り ○ストックヤードの場所の確保が必要 ○地域循環型社会形成推進地域計画が策定されており、ストックヤードに対する交付金を得ることが難しいおそれがある</p>